

JPEA「地域共創エネルギー推進委員会」の取り組み ～政策提言に向けた検討と実態把握のための現地調査～

エクソルは太陽光発電の地域共創に向けた制度作りに携わる会社です

JPEA 太陽光発電協会
Japan Photovoltaic Energy Association

地域共創エネルギー推進委員会

委員長会社
XSOL



提言



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

太陽光発電協会 (JPEA) は、太陽光発電に関わる企業を束ねる業界団体です。地域共創エネルギー推進委員会は、JPEA に参画する複数の企業で構成され、委員会での検討内容を経済産業省に提言し、その内容を基に、新たな制度が検討されています。エクソルは、委員長会社として中心的な役割を果たしています。

地域に寄り添い、地域と共に創り出す 「草の根型共創エネルギー」としてのあり方・政策等の提言・確立

本来のあるべき姿

ノンカーボン
地球温暖化問題に対する取り組み
脱炭素社会の実現

- ・必要なもの
- ・貢献するもの

地域と共に創る
||
求められる

太陽光発電 ↔ 地域

VS
バッティング
相容れない…妥協、我慢

共生

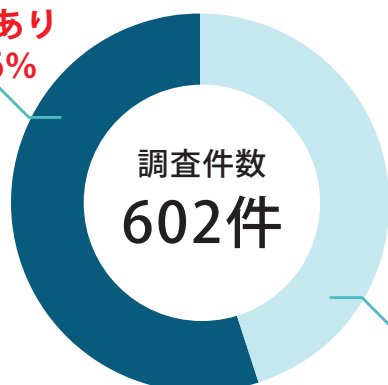
イメージが悪いことが前提になっている。

基本的に「相容れない部分」を解消するのではない。
「本来のあるべき姿」に戻すだけ。

1. 太陽光発電所の安全性とそれに伴う「地域に暮らす人々の安心」の確立
2. 地域において必要不可欠なエネルギー（電源）として、その貢献性の確立

日本全国33市町村の太陽光発電調査結果

問題あり
約 56%



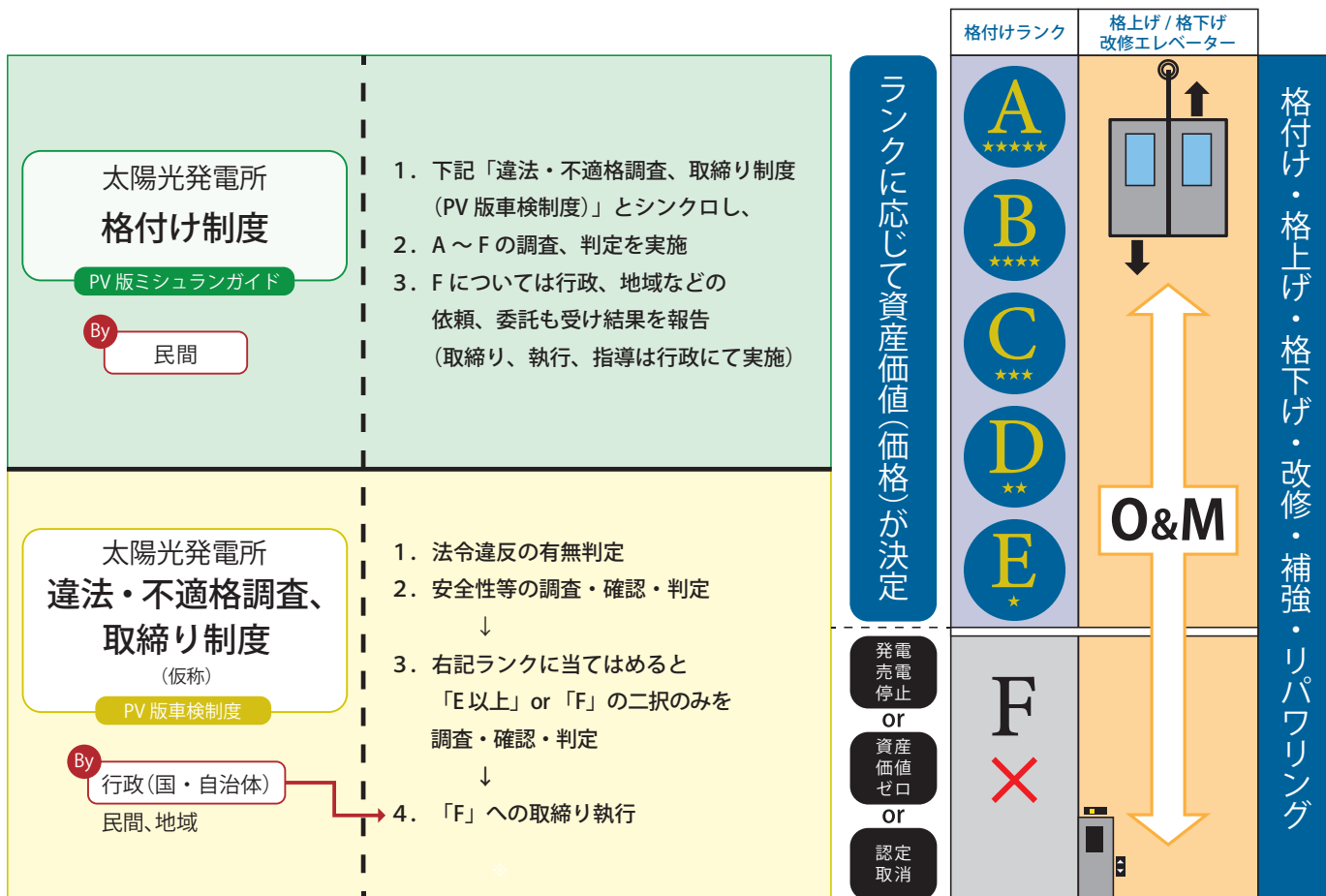
調査件数
602件

問題なし
約 44%

自治体担当者と協力し、日本全国 33 市町村の太陽光発電所の現地調査を行いました。調査の結果、問題の見つかった発電所は全体の約 56% ありました。標識の設置やフェンスの設置を行うことで改善が可能ではあるものの、FIT 制度にて義務付けられている内容になるため、法令違反となります。

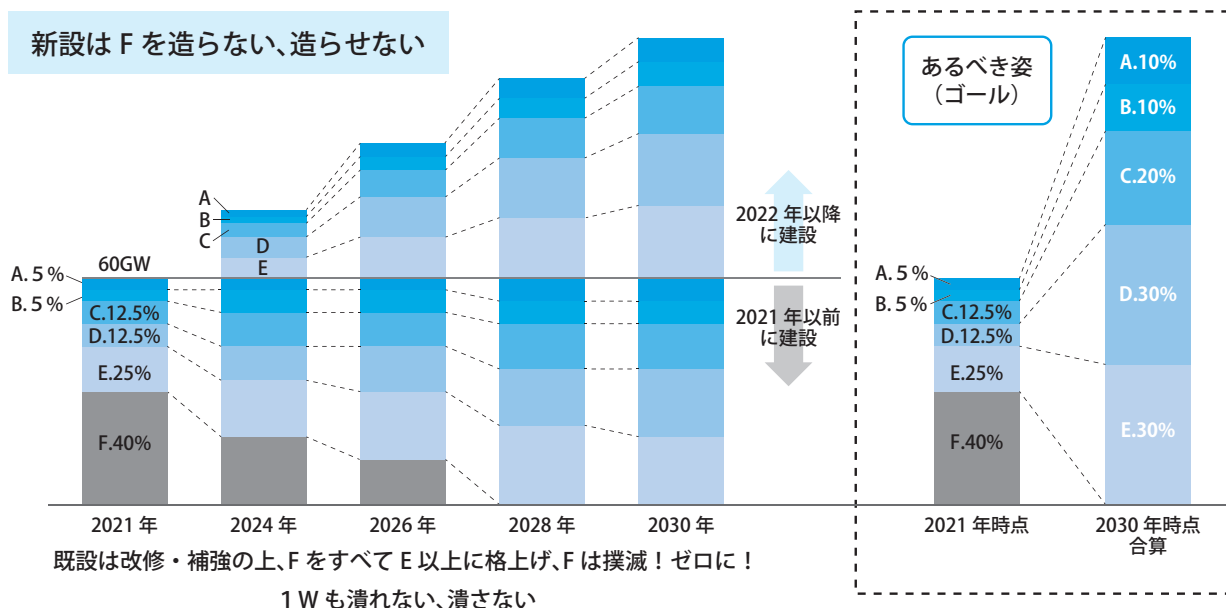
JPEA「地域共創エネルギー推進委員会」の取り組み ～再エネの導入拡大に必要不可欠な「2階建てシステム」～

長期安定稼働/安全・健全な太陽光発電/地域共創のための2階建てシステム[※]



※法令に抵触しなくても危険な発電所はFとする

「格付け制度」、「違法・不適格調査、取締り制度」がもたらす成果イメージ[※]



※一般社団法人太陽光発電協会発行『光発電 No.45 (2022年6月28日)』掲載、「地域共創エネルギー推進委員会の取り組み」より引用